

耳が聞こえないつらさ

小 四

「え、もう一回言つて。」

「また言うの。もういいよ。」

こんな会話で、相手にいやな思いをさせてしまうことが、何度もありました。

ぼくは、三才ごろから、耳があまり聞こえなくなつてしまつたのです。それは、中耳えんという病気にかかつてしまつたからです。

耳がよく聞こえないというのは、最悪です。それは、父や母、妹が言つている言葉が、一回では聞き取れず、何回も聞いてしまうからです。でも、

聞かれた方の気持ちを考えると、同じことをまた言うのなどと、思つてしまうでしょう。同じことを何回も聞かれるのは、相手の人にとって気持ちのいいことではないと思います。それに、自分の話をちゃんと聞いていないのかな、同じことを言わなくちやいけないなんて、めんどくさいなと、感じているのではないかと、心配になります。

家族でも、しつこく聞き返すと「もういいよ。」と言われることがあります。そう言われると、ぼくだつて、同じことを何度も聞くのはいやだ。めいわくだつて、わかっているのと、さけびたくなることがあります。

学校でも、耳がよく聞こえなくてこまることがあります。先生の話がよく聞き取れないことがあるのです。

先生は、

「一回しか言わないよ。」

と、おっしゃいます。だから、聞きもらさないように真げんに聞きます。一生けん命聞いていても、聞き取れないことがあるのです。

ぼくは、決して聞いていないのではなく、聞こえていないのです。友だちの話だって、いいかげんに聞いていたり、聞く気がなかったりするのではないのです。

先生は、

「目と耳と心を使って、人の話を聞きなさい。」

とも、おっしゃいます。ぼくは、目と耳と心を使って、人の話を聞いているのですが、耳だけが思うように働かないのです。話を聞き取ってくれないのです。そんな時、先生が黒板に話の内ようを書いてくれると、とても助かります。ありがたいなと思います。

ぼくは見た目だけでは、耳が聞こえにくいことがわからないと思います。ぼくと同じように世の中には、見た目だけではわからない、〇〇しくい人がいると思います。先生から、内部しよう害という話も聞いたことがあります。見た目にはふつうの人と変わらないのですが、心ぞうやじんぞう、はいなどに、しよう害のある人がいます。こういう人のこ

とを内部しよう害というそうです。
内部しよう害の人は、見た目にはつ
らいことがわからないので、電車や
バスのゆう先席などに座っていると、
変な顔をされるそうです。こんな内
部しよう害の人は、他の人に自分の
つらさをわかってもらえず、どんな
にかつらいことだと思えます。だか
ら、見た目にはわからなくても、こ
まったようすの人がいたり、みんな
と同じようにできない人がいたりし
たら、ぼくも、先生が黒板に話の内
ようを書いてくれたようにしたいで
す。

せん。
「何かこまっていることはある
の。」
と、やさしく聞いて手助けをしたい
です。
〇〇しにくい人や内部しよう害の
人は、見た目ではわからないけれど、
自分ではどうしたらいいかわからず、
こまっていることでしょう。そんな
人に、やさしく声をかけてあげるこ
とで、その人がどんなにか安心でき
ると思います。
どんな人でも、こまっている人に
は声をかけ、どうしてほしいのかを
聞いて助けられる、そんなやさしい
人に、ぼくはなりたいと思います。

